

清流の息吹を訪ねて

川の忍者 カワアナゴ

く天敵サギをも騙す、木の葉隠れの術く

このコーナーは、市内山ノ内
で釣りに関するアドバイス
などを行う(株)フィッシュナビ
の代表で、「魚の専門家」
の八鳥洋二さんからご寄
稿いただいています。

台風や雨が多い9月は、アユの観察は一旦小休止。そんな時は気分転換で下流域を散策してみましょう。

そこは潮の干満の影響を受け、淡水と海水が入り混じる汽水域の世界。生態系もガラツと変わります。

今回は、汽水域に生息する「カワアナゴ」という面白い魚を紹介します。アナゴといっても、実はハゼの仲間です、第一印象は「大きい」の一言に尽きます。神戸川で撮影したもので



木の葉に同化するカワアナゴ

25cmほどあり、その長さに先人はアナゴと間違えたのかもしれない。

しかし、こんなに大きいにも関わらず、そう簡単には見つけることができないのは何故でしょう。その理由は「忍法木の葉隠れの術」と言わんばかりに落ち葉と同化し、時には自ら葉っぱになりきり、川の流れに身を任せ漂うからです。

その姿を見つけるのは、魚を主食とするカワセミやサギなどの鳥類にとっても難しいようです。カワアナゴの撮影時、サギと鉢合わせになり、私はその決定的瞬間を逃すまいとカメラを構えましたが、サギは足元にいる獲物をそのまま見過ごし去っていったのです。

命の危機が迫っているのに、木の葉を演じ続けるカワアナゴの役者魂は凄い！私の期待を良い意味で裏切ったのでした。